



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 細谷 俊夫 幹 事 伴

誠

会報・雑誌委員長 床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3067号 2024年10月29日(雨) 第17回例会 会員数99名

夜間例会

点 鐘 細谷会長
司 会 副SAA 菊池(信) 会員

- ◇ロータリーソング「四つのテスト」
- ◇本日のメニュー スペシャルディナー



ビジター紹介 片嶋副会長

- ◇卓話者 元宇都宮市消防局消防士
宇都宮市市議会議員 手塚 泉 様



会長挨拶 細谷会長

皆さん、こんばんは。日曜日に、市内10クラブ共同でのポリオ撲滅キャンペーンに行ってきました。東ロータリークラブの受け持ちは、10時から12時まで、東武デパート北側のオリオン通り入口でした。東ロータリークラブでは、米山奨学生、ローターアクターをはじめ十数人の参加者がありました。また会員の皆様も募金に来ていただきました。ご協力ありがとうございました。

2024-2025年度のクラブ年次総会を12月3日に開催いたします。年次総会におきましては、クラブ細則第3条第1節の規定により、役員である次次年度会長、次年度副会長、次年度幹事、次年度会計、次年度SAA、および8名の次年度理事の選挙を行います。役員、理事に立候補される方がおりましたら、伴幹事まで、事前にお届けいただきますようお願いいたします。また、クラブ細則第5条第1節(b)に記載がありますように、今年度前期の一般会計の収入と支出を、中間報告として発表いたします。12月3日の年次総会には、皆様ご出席の上、ご審議いただきますようお願いいたします。

ちなみに、今日は、宝くじ発売の日です。1945年10月29日、日本で初めて宝くじの販売がスター

トした日です。今日は大安吉日ですので、宝くじを買うと、当たるかもしれませんね。

最後に、今日の卓話は、元消防士の手塚泉様で、「宇都宮市における救急活動の実態」という事での卓話があります。救急活動というと、私は、経験から救急車を思い浮かべてしまいますが、皆様はいかがですか？ということで、挨拶とします。



幹事報告

伴幹事

- ◇12月3日、クラブ年次総会開催。
※詳細は会長挨拶にて告知
- ◇12月1日(日)開催の地区大会本会議に参加される方は、参加確認の文書をご返信下



卓話

「宇都宮市における救急活動の実態」

元宇都宮市消防局消防士
宇都宮市市議会議員 手塚 泉 様

皆様、こんばんは。本日は、「宇都宮市における救急活動の実態」ということでお話したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

はじめに、私のプロフィールについてお話させていただきます。私は、

宇都宮市の若草で生まれました。小山高専で化学を専攻しました。その後、1年程民間で勤めたのですが、平成8年に消防局に入り、令和4年まで26年間、消防士として働いておりました。主な業務としては、消防の予防行政、防火設備や防火査察といった危険物規制がメインでしたが、現場では、救急隊長、救助隊長も経験しました。その後、

消防設備の会社、(株)WinWinコーポレーション、社会保険労務士の資格をとって、事務所も立ち上げ、その頃、先輩議員からの話もあり、市議会議員に立候補し、52人中27番目で当選いたしました。

－ パワーポイントにて説明 －

宇都宮市消防局の概要について

- ・施設数：1局（消防本部）、4消防署（中央・東・西・南）、9消防分署
- ・職員数：466人（充足率79.8%） ※584人が基準数

宇都宮は全国平均より下回っています。市議会議員になって、消防職員の定員数を増やして欲しいと要望しました。

宇都宮市の救急体制について

- ・出動件数：1年間で27,151件。1日平均74.4件。前年よりも2,500件増。年々増加。

※令和5年のデータ

- ・搬送人員：21,932人

必要がないのに呼ぶ人が増えています。

- ・救急車台数：17台（通常は13台で回している）過去に17台オーバーしたことがあり、AEDを積んでいる消防車があった事もあります。
- ・到着時間 9分台（全国平均は10分）通信指令課が優秀な機能を備えています。ただ、受け入れ体制に弱いところがあります。

署別出動件数

中央消防署が一番多い。

救急業務の詳細について

- ・出動内訳：急病（64.3%）が一番多い。転院搬送という病院間の搬送も多くある。
- ・月別・曜日・時間帯別出動件数：月別は7、8、12、1月が多く、2月が少ない。曜日別では月曜日が多くその他の曜日は同じ位。時間帯は午前中（10時～12時）が多い。
- ・発生場所別救急搬送数：住宅（58.3%）が一番多い。デパートや居酒屋等、公衆の場（28.8%）。道路等。
- ・年齢別搬送数：高齢者が半分以上を占める。これから高齢化が進んでいくにあたって、救急車の数も職員の数も必要になってくるため、今の状況を見直す必要があると思っています。
- ・傷病程度搬送人員数：中等症（52.6%）、軽症（36.2%）、重症（10.7%）、死亡（4.6%）、その他（0.01%）

軽症の中には、日焼けして肌がひりひりするからというのがあります。病院の予約時間に間に合わないから、ということもありました。必要な時は絶対に呼んで欲しいと思いますが、どうみても必要でないと思われる場合も多くあります。死亡、というのは、救急隊員が判断できる死亡は決まっております、病院に到着してから死亡が判断されます。

AEDや胸骨圧迫の救急指導は大切なので、是非、受けていただければと思います。宇都宮市の概要については、一年間、これだけ出動して、これだけの台数が出て、24時間フルに動き回っているということです。ただ、救急車の数は全国平均に比べて少なく、救急隊員も少ないので、私の立場で、声を上げていきたいと思っています。

高度救命センターについて

現場の人間からすると、非常に必要なものです。もっと良い病院に運べたら、ということが正直何度もあります。高度救命センターとは、ICU（集中治療室）やSCU（脳卒中集中治療室）、CCU（心疾患集中治療室）に加え、広範囲熱傷、四肢切断、急性中毒などの特殊疾患患者の治療を行うことができる病院です。また、災害時には医療拠点となる期間災害医療センターとしての役割を果たします。他の「救命救急センター」と連携することで、最重症患者を効率的に受け入れる体制を構築でき、自県の救急救命医療体制を強化できます。救急医療は一次医療、二次医療、三次

医療があり、三次医療は救命救急センターで、ここでいえば済生会ですが、高度救命センターはその上のシステムで、栃木県は関東で唯一、高度救命センターがありません。是非とも、高度救命センターをお願いしたいと思っています。私の立場として、消防職員の方やいろいろな声を聞いて、声を出すことが重要だと思っています。今回、救急出動件数が近年増加傾向にあることを踏まえて、救急需要増加に対する体制強化をあげました。宇都宮市の救急体制がよりよくなるように、皆様もご協力いただければと思います。

◇挨拶 船田元会員

乾杯 石川和重会員（2023/1/24入会）